

笑顔であいさつ
仲良しこよし



あいさつ便り

2025年1月7日発行

発行元：チームあいさつ運動すすめ隊
チームあいさつ運動すすめ隊は市ケ尾・荏田西地域の子供たちが笑顔であいさつを交わし、街の中を行き交う大人たちも自然と会釈する姿を目指しあいさつ啓発に向けた施策を講じる自治会・学校・PTAの有志団体です。

<東市ケ尾小学校 霜田 恵子校長> 先日、3年生の子どもからお手紙をもらいました。あいさつが大切と知っていても、小さいときは勇気が出なかったこと、今は自分から地域の方にあいさつできるようになり、自分の成長を実感できた喜びが書かれていました。小学校に入学後大きな声であいさつする上級生にあこがれて自分もできるようになったと書いてくれた子もいます。地域の皆様や学校からのあいさつ運動の働きかけが、子どもたちの心にじわじわと広がっていることを感じた幸せなひと時でした。これからも子どもの社会性を伸ばすために粘り強く働きかけ続けていきたいと改めて思いました。

中市ケ尾自治会様より、クリスマスリースを贈呈していただきました。



市ケ尾中学校ブロックで行われた「あいさつ運動の取り組み」を紹介します

<市ケ尾中学校>

今年も11月29日(金)～12月6日(金)の6日間、市ケ尾中学校・荏田西小学校・東市ケ尾小学校の3校で、小中合同のあいさつ運動を実施しました。参加した生徒からは、「元気いっぱいあいさつをしてくれる小学生から、あいさつの良さについてまた一つ学ぶことができた。」「去年よりもあいさつを返してくれる人が増えてきた感じがある。」「自分が小学生の頃、中学生がきてやっていた取組に、今参加することができて、とても嬉しかった。」「小学生との関わりを通して、あいさつ運動のやりがいや楽しさ、温かさをもう一度感じる事ができた。」など、この取組から大変多くのことを感じる事ができたようです。



<荏田西小学校> 「あいさつ運動ののぼり旗、第二弾作成中!!」

現在、児童が考えた人権標語からあいさつにかかわる標語を選び、全校投票を行います。投票で選ばれた標語を使って、第二弾ののぼり旗をデザインしていきたいと思ひます。

また、12月中旬から1月上旬にかけて、校内であいさつ運動を行っています。12月は体調不良の子どもが多かったため、各学級での取り組みとなりましたが、1月はボランティア委員会主導のもと、取り組む予定です。

これらをきっかけにあいさつの輪を学校内外に広げていきたいと思ひます。



<東市ケ尾小学校>

自分から率先して「あいさつ隊」を希望し、市ケ尾中学校のお兄さん、お姉さんと一緒になって、朝から元気に「おはようございます!」と声をかけました。参加した児童は「朝から大きなあいさつをすることで自分も目が覚めるし、みんなが笑顔になれると思ひました。社会に出てもあいさつを続けたいと思ひます」「あいさつ運動を通してあいさつをする人が少ないことが分かったので、あいさつをする人が増えるようにあいさつを続けていきたい」「あいさつ運動を通して、自分からあいさつする大切さと、その返事がくると『やってよかった』と思ひえるこの気持ちを体感することができた。今後自分からもあいさつを意識していきたい」と感想を述べていました。



「おはよう」は いつもの朝の準備運動 すればたちまち 笑顔になるよ！！



※「市太（イチタ）」と「たぬぴひ先輩」は市ヶ尾中学校のキャラクターです

市ヶ尾・荏田西地域あいさつ推進運動実施中

作：市ヶ尾中学校/福祉委員会及び美術部

発信元：チームあいさつ運動すすめ隊